

42722

教科書文庫

4
290
31-1905
25000
32322

31-1905

Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

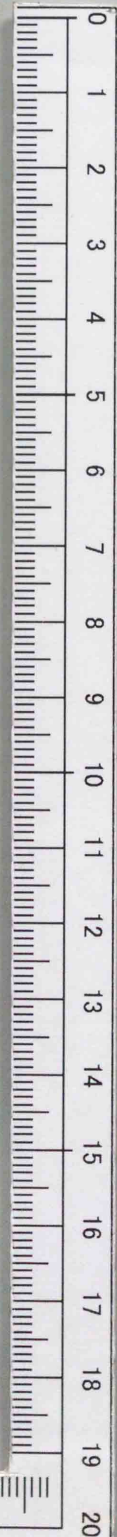
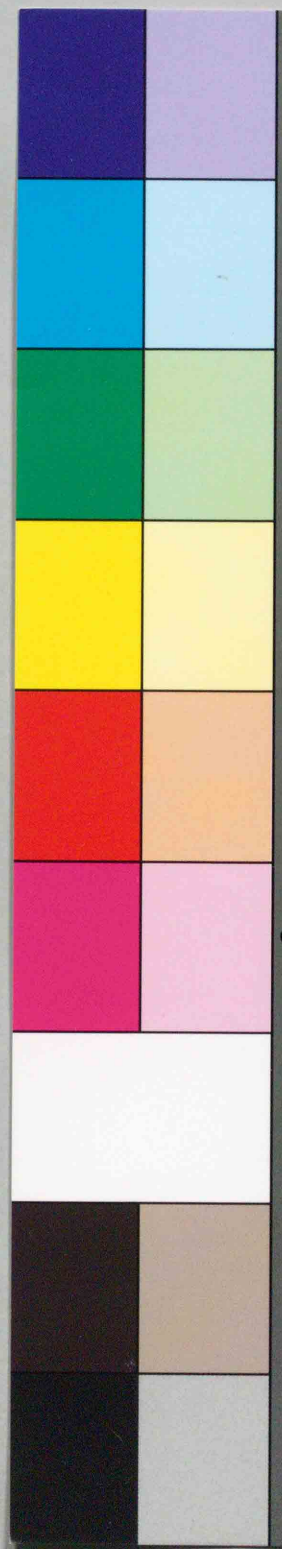
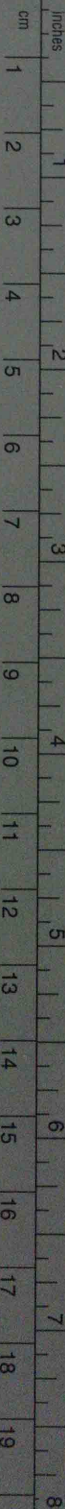


© Kodak, 2007 TM: Kodak

Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak



文部省著作

小學地理

一

發賣所

株式會社

國定教科書共同販賣所

教科書  
31-  
2500



教科書文庫  
4  
290  
31-1905  
2500032322



文部省著作

地理學

一

發賣所

株式會社

國定教科書高販賣所

登録番号  
32322  
分類  
375.9  
M

広島大学図書

2500032322



梅木壯太郎

目錄

第一 總論……………一

第二 關東地方……………六

東京府……………七

神奈川縣……………十一

千葉縣……………十四

埼玉縣……………十六

群馬縣……………十七

栃木縣……………二十

茨城縣……………二十二

第三 奥羽地方……………二十四

福島縣……………二十六

宮城縣……………二十八

岩手縣……………三十

青森縣……………三十二

秋田縣……………三十三

山形縣……………三十五

第四 本州中部地方……………三十七

静岡縣……………三十九

山梨縣……………四十二

愛知縣……………四十四

岐阜縣……………四十七

長野縣……………四十九

新潟縣……………五十三

富山縣……………五十六

石川縣……………五十七

福井縣……………五十九

小學地理一

第一 總論

わが國は島國なり

五大島

千島

琉球

わが國の長さ

わが國の四方

わが大日本帝國は、多くの島島より成れる國なり。その中にて、ことに大なるは、本州、四國、九州、北海道、本島、臺灣の五つなり。北海道本島の東北には、千島の島島、飛石の如く、ならび、九州と臺灣との間には、琉球の島島、また、飛石の如く、ならべり。千島のはてより、臺灣のはてまでは、およそ、一千二百里あり。わが國の東より南にかけて、太平洋あり。太平洋を



わが國の廣  
さ  
わが國の人  
民の數

へだてて、とほく、東の方には、アメリカ合衆國、カナ  
ダなどあり。北海道本島の東北には、オホーツク海  
あり、本州の西北には、日本海あり、九州の西南には、  
東支那海あり。わが國は、オホーツク海、日本海をへ  
だてて、ロシヤ國のシベリヤと韓國とに向ひ、東支  
那海をへだてて、清國に向ふ。また、臺灣の南には、ア  
メリカ合衆國に屬するフィリピン群島あり。  
わが國の廣さは、一里四方の地を、二萬七千ばかり  
も合せたるほどあり。これに住める人民の數は、ほ  
とんど、五千萬におよべり。これらの人人は、上に萬

萬世一系の  
天皇

世一系の天皇をいただきて、みなたのしく、その日をおくれり。

行政上のわ  
かち

三府、四十  
三縣

郡、市、町、村

北海道廳

臺灣總督府

畿内、八道  
八十五國

わが國は、政治を行ふ便利のために、北海道本島、千島、臺灣をのぞきたるほかを、三府、四十三縣に分つ。府、縣の下には、郡と市とあり、郡の下には、町、村あり。府、縣、郡、市、町、村には、いづれも、それぞれの役所あり。また、北海道本島と千島とを、北海道といひて、これに北海道廳を置き、臺灣には、臺灣總督府を置く。このほか、わが國の分ちかたに、臺灣を別にして、畿内と東海、東山、北陸、山陰、山陽、南海、西海、北海の八道

本州の五地  
方

全國を九地  
方に分つ

とに分ち、さらに、これを八十五國に分つこともあり。これは、天皇の、むかし、ましましたる地方を畿内といひ、これを中心として、かく、分ちたるなり。本州は、五大島の中にて、もつとも、大なる島にして、中に、畿内と、東海、東山、北陸、山陰、山陽の五道と、南海道の一部分とあり。今、これを關東、奥羽、本州中部、近畿、中國の五地方に分つ。これに四國、九州、北海道、臺灣を加へて、全國を九地方とし、府、縣、道廳、總督府の區別にしたがひて、わが帝國の地理を語らん。

關東八國

一府六縣

(符號說明)

千六百五

十尺(五百

メイトル)

以上の高地

三百三十

尺(百メ

トル)以上

の高地

鐵道

國界

境界

縮尺は三百六

十萬分の一な



關東地方とは、本州の東南部に於て、中に、相模、武藏、安房、上總、下總、常陸、上野、下野の八國あり。これを行

政上、東京府と、神奈川、千葉、埼玉、群馬、栃木、茨城の六縣とに分つ。この地方は、西より北に、山あ

ひ連りて、本州中部地方と奥羽地方とに境し、東と南とは、太平洋に臨み、東南部に房總半島ありて、三浦半島とともに、東京灣をかこむ。氣候、おほむね、溫暖なり。

關東には、日本第一の廣き平野あり。これを關東平野といふ。利根川は、西北の山地より出で、東南に向ひて、この平野を流る。平野は、土地肥えて、農産物に富み、東南部の海に沿へる地方には、漁業の利多く、山に近き西北部の地方には、養蚕の業盛なり。

東京府(武藏の中部、伊豆七島、小笠原島)

産物

關東平野

位置

(符號說明)

■ 三大市  
○ 人口一萬以上の町  
各府縣分圖縮尺は百八十分の一なり

東京市

宮城

官廳學校等

社寺

東京府は、わが國の首府東京市のある所にして、その位置、ほぼ全國の中央にあたる。東京市は隅田川にまたがる。人口、およそ、百七十萬ありて、わが國第一の都會なり。

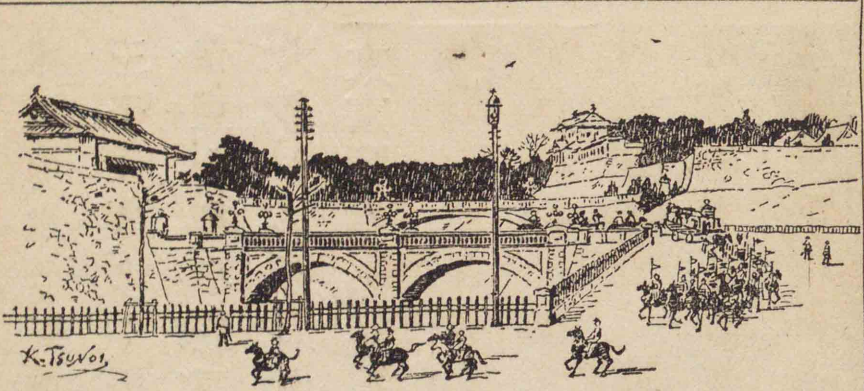


宮城は市の中ほどにあり。その内外には、諸官省、帝國會議事堂、東京府廳、近衛師團と第一師團との司令部などあり。また、市中に、帝國大學をはじめ、あまたの學校あり。名高き社寺は靖國神社、淺草寺な

公園

鐵道

多摩川



宮城二重橋

どにして、上野、芝、日比谷、淺草は公園のおもなるものとす。市内、商業盛にして、また、いろいろの工藝品を産し、書籍新聞などの發行、はなはだ、多し。東京よりおこれる鐵道には、東海道線、甲武線、奥州線、總武線などあり。甲武線は東京より西に向ひ、多摩川を渡り、八王子にいたる。多

東京市の水道  
八王子

伊豆七島

大島

八丈島

小笠原島

摩川の水は、東京に引きて、市民の飲料にもちふ。八王子には、多く、絹織物を産す。

伊豆七島、小笠原島は太平洋中にあり。伊豆七島中、大島、もつとも、大なり。島に火山あり、つねに、煙をふく

東京府ノ一 伊豆一部

太

八丈島

八丈島

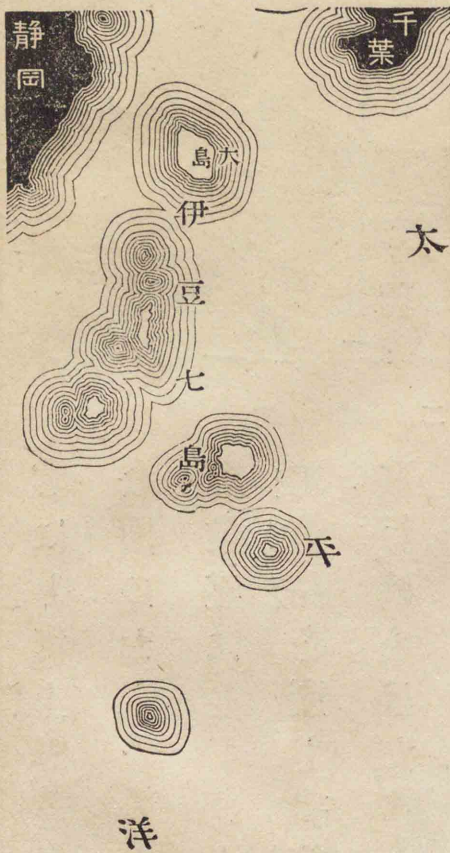
には、絹

織物の

産あり。

また、小

笠原島



は、はるか、南にある群島にし

て、父島、もつとも、大なり。氣候は

なほだ、暖にして、ばなな、あな

なす、甘蔗、海亀を産す。

神奈川縣(武藏の南部、相模)

神奈川縣は、東京府の南に連り、三浦半島、東南に出でて、東京灣と相模灣とを分つ。

東京灣に臨みて、横濱市あり、縣廳のある所にして、わが國第一の開港場なり。この地は、もと、さびしき所なりしが、開港後、急に、盛になりて、今は、人口三十



位置

横濱市



(符號說明)

○ 縣廳所在の

市

○ 人口一萬未

滿の町

○ 温泉

鐵道

鎌倉

江島



に向ひ、靜岡縣に入る。また、その支線に、鎌倉を経て、三浦半島の横須賀にいたるあり。鎌倉は、源頼朝が幕府を開きたりし所にして、鶴岡八幡宮、鎌倉宮、建長寺、大佛など、名高き社寺多し。江島は、その西にあり、景色よし。

萬以上に及べり。市の産物には、漆器、陶器などあり。鐵道東海道線は、東京より來りて、横濱を過ぎ、馬入川を渡り、相模灣に臨める。國府津より、西北

横須賀 觀音崎の砲臺

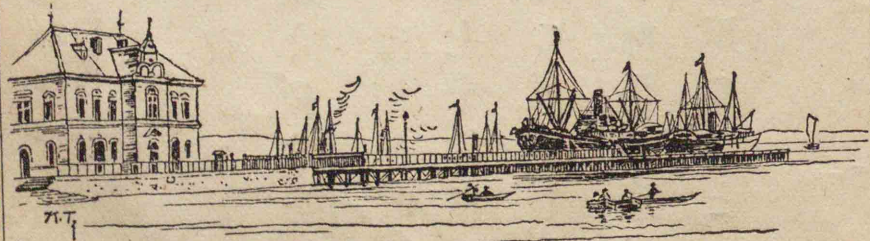
浦賀

國府津 小田原

箱根

横須賀は、軍港の一にして、大いなる造船所あり。その東南なる觀音崎は、千葉縣の富津洲とあひ向ひ、ともに、砲臺の設ありて、東京灣の口を守る。觀音崎の近傍なる浦賀は、アメリカ合衆國の軍艦が、はじめ、來りし港なり。

相模灣の海岸には、海水浴によるしき所多し。國府津の西に、小田原あり。小田原の西方、箱根の山中には、温泉



横濱港 さんばし

多し。山上に蘆湖あり。むかし、このほとりに、名高き關所ありき。

千葉縣(安房、上總、下總の大部)

千葉縣は、房總半島の地にして、利根川その北をかぎる。

利根川は、關東第一の大川にして、長さ七十餘里あり。水勢きはめて、ゆるやかにして、交通の便多し。その分流江戸川は、東京府との境をなす。味淋の産地なる流山、醤油の産地なる野田は、この川のほとりにあり。

位置

利根川

江戸川

流山  
野田

鐵道

千葉  
(符號說明)  
◎ 縣廳所在の町  
未成鐵道



鐵道總武線は、東京より來り、江戸川を渡りて、千葉にいたり、さらに、佐倉を経て、銚子にいたる。また、佐倉より分れて、佐原にいたるものと、千葉より分れて、上總の東海岸に通ずるものとあり。

千葉は縣廳のある所なり。千葉より西南、房總半島の西海岸には、木更津、館山などあり。富津洲は木更津の西

佐倉  
印旛沼

銚子

九十九里濱  
佐原

香取神宮

位置

鐵道

浦和  
大宮

南にあたる。佐倉は印旛沼の南にあり。この近傍より佐倉炭を産す。銚子は利根川の口にある港なり。この地、醬油を産す。銚子の東に犬吠崎出づ。それより西南、九十九里濱には、鰯のり多し。佐原は利根川に沿ふ。その東の香取には、香取神宮あり。

埼玉縣(武藏の北部)

埼玉縣は、東京府の北に連り、北には、利根川、東には、江戸川あり。

東京より西北に向へる鐵道は、縣廳の所在地なる浦和を過ぎ、大宮にいたりて、奥州線と高崎線とに

熊谷

川越

秩父

荒川

位置



分る。高崎線に沿ひて熊谷あり。大宮の西にあたる川越には、織物を産し、その近傍には、多く、甘藷を産す。このほか、本縣には、農産物多く、麥の産額、ことに、いちじるし。

山多き秩父地方は、縣の西部にあたり、秩父絹を産す。荒川この地方より出づ。その下流は、すなはち、隅田川なり。

群馬縣(上野)

群馬縣は埼玉縣の西北にあり。

鐵道

(符號說明)

☀ 山の位置  
◎ 市の位置  
(縣廳なき)

前橋市

桐生

高崎市



生は、織物の産地として、名高し。縣内、すべて、養蚕の業、盛に行はれ、生糸、織物の産額はなほだ、多し。高崎市は、鐵道のあつまれる所にして、信越線、これより、

鐵道高崎線は、埼玉縣を経て來り、高崎を過ぎて、前橋にいたる。これより、さらに、東の方、桐生を過ぎて、栃木縣に通ずる鐵道に連るなり。前橋市は、縣廳のある所にして、生糸の取引多く、桐

碓氷峠

妙義山  
榛名山  
赤城山

伊香保

妙義山の東北を過ぎ、碓氷峠を越えて、長野縣に入る。碓氷峠には、二十餘のトンネルをうがち、汽車は、アプト式によりて、これを過ぐ。妙義山は、榛名、赤城の二山とともに、上野三山の名あり。妙義は、ことに、景色よし。榛名山の麓には伊香保の温泉あり。このほかに、本



妙義山中の奇岩

草津

縣には、草津など、名高き温泉あり。

栃木縣(下野)

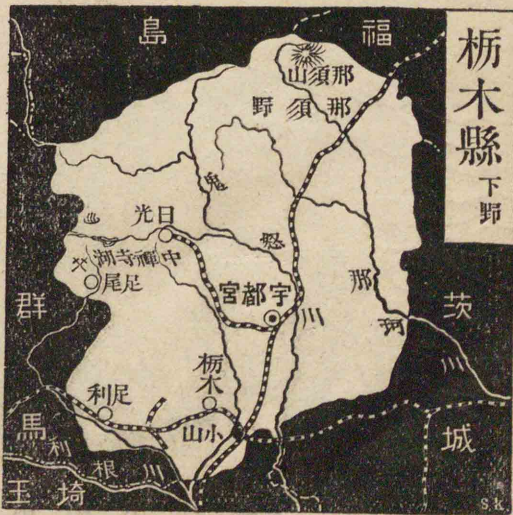
栃木縣は群馬縣の東に連る。

鐵道

群馬縣より來れる鐵道は

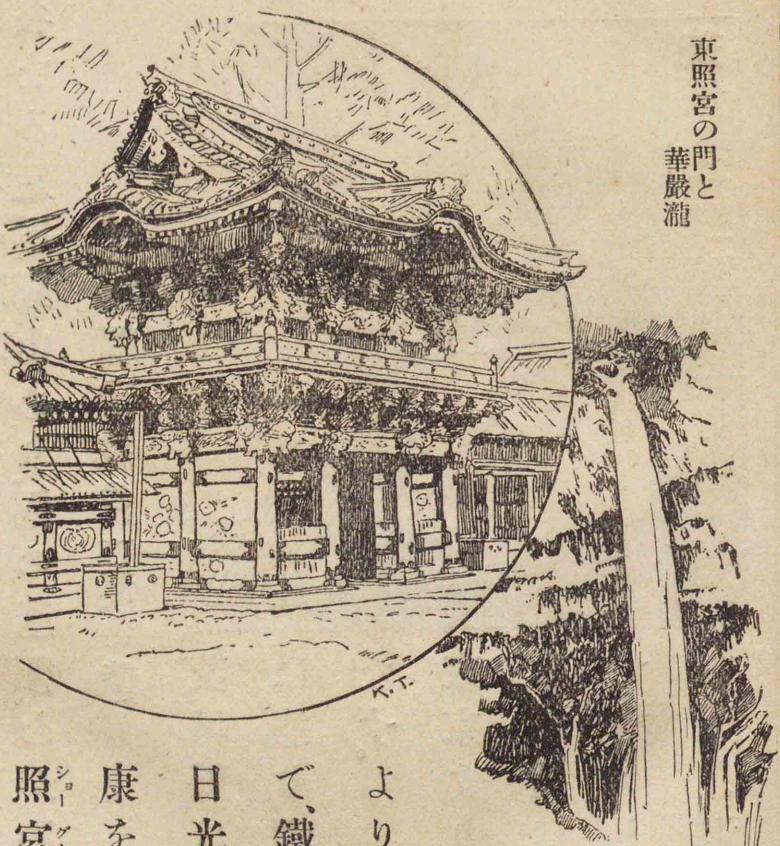
足利 那須山 鬼怒川 那須野

足利、栃木を過ぎ、小山にて、奥州線と會す。奥州線はこれより、宇都宮を過ぎ、鬼怒川を渡り、那須野を横ぎりて、福島縣に入る。那須野の北に那須山あり。足利は絹織物の名高き産地なり。



宇都宮市

東照宮の門と華嚴瀧



日光 東照宮 中禪寺湖 華嚴瀧

り物、はなはだ、美麗なり。その山中に中禪寺湖、華嚴

宇都宮市は縣廳のある所に、して、それより、西北、日光まで、鐵道の便あり。日光には、徳川家康をまつれる東照宮あり。建築、ほ

足尾

瀧などあり、景色はなほだよし。日光の西南には、有名なる足尾銅山あり、銅の産額、わが國第一なり。

茨城縣(下總の一部、常陸)

茨城縣は、千葉縣の北に連り、利根川を境となす。

東京より東北に向へる鐵道は、千葉縣を経て來り、土浦、水戸などを過ぎ、海岸に沿ひて

位置

鐵道



土浦

北浦

鹿島神宮  
筑波山

結城

水戸市  
那珂川

常磐公園

湊

福島縣に入る。

土浦は、霞浦のほとりにあり、醬油を産す。霞浦は、わが國第二の大湖にして、その水、北浦に連る。北浦の東、鹿島には、鹿島神宮あり。土浦の北方に筑波山あり、平野の中に立ちて、ことに、人目をひく。筑波山の西北にあたりて、紬の産地なる結城あり。この近傍には、また、多く木綿を産す。

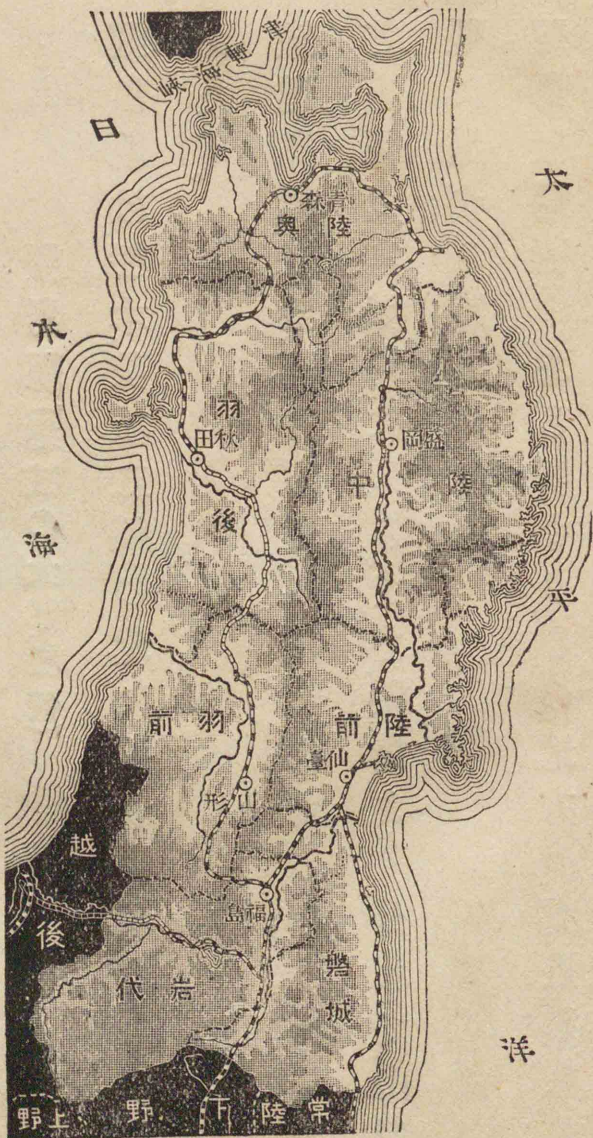
水戸市は、縣廳のある所にして、那珂川に沿ふ。この地に、有名なる常磐公園あり。那珂川の口に臨みて湊あり。その近傍は漁業盛なり。

太田  
水戸の北に太田あり、鐵道その間に通ず。この地方には、多く、煙草を産し、北方の山地よりは、石材を出す。

第三 奥羽地方

奥羽七國  
六縣  
奥羽地方とは、本州の東北部、磐城、岩代、陸前、陸中、陸奥、羽前、羽後の七國をいふ。これを行政上、福島、宮城、岩手、青森、秋田、山形の六縣に分つ。

境界  
この地方は、關東地方の北に連り、東は太平洋に、西は日本海に臨み、北は、津輕海峽をはさみて、北海道



本島に對す。その中央と東部とには、山脈、長く、南北に連り、北上、阿武隈の二大川、その間を流る。この地方は、土地廣き割合に、住民少し。平野には、多

産物

く、米を産し、山地には、鑛物の産地多し。また、東部の地方には、馬を産すること多く、南部の地方には、養蚕の業盛なり。

福島縣(磐城の大部、岩代)

位置

福島縣は、栃木、茨城二縣の北に連り、奥羽の入口にあたる。

鐵道

鐵道奥州線は、阿武隈川の川筋にある白河、福島などを經て、宮城縣に入る。また、福島より分れて、山形縣に通ずる鐵道あり。

福島

福島は縣廳のある所なり。この地方は養蚕、製糸の

業盛にして、生糸、蚕卵紙を産すること多し。

縣の中部に猪苗代湖あり、福島の西南にあたる。その北に磐梯山あり、近年破裂したるをもて名高し。湖の西方に若松市あり、鐵道來り通ず。この地方、陶器、漆器を産す。縣の東部海岸地方には、平、中村などを過ぎて、宮





平  
中村

城縣に通ずる鐵道あり。平の近傍には、石炭を出し、中村には、相馬燒を産す。

宮城縣(磐城の一部、陸前の大部)

位置  
(符號説明)

● 村

鐵道

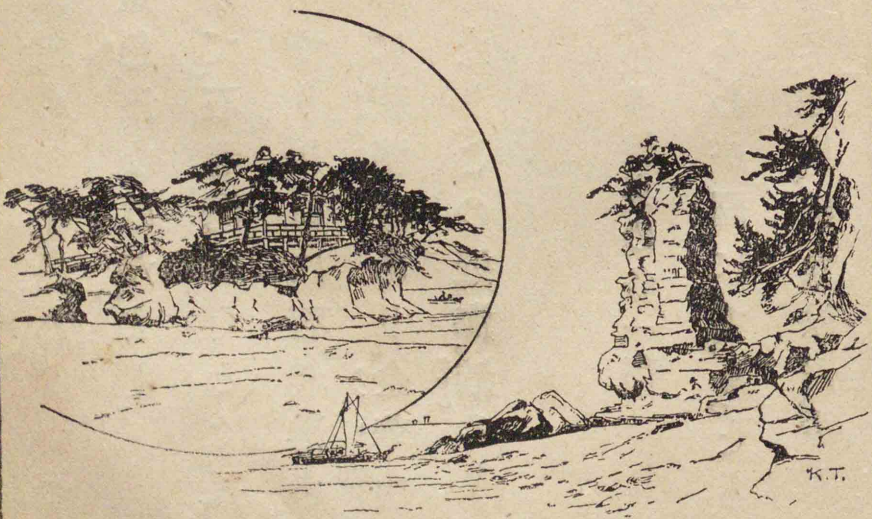


宮城縣は福島縣の東北に連る。その東部に牡鹿半島ありて、石巻灣をかぎる。福島縣を経て來れる二條の鐵道は、阿武隈川の北に會し、仙臺を過ぎ、北の方、岩手縣に入る。

仙臺市

仙臺平野

仙臺市は、縣廳のある所にして、東京より九十里ばかりの所にあり。人口八萬餘、奥羽第一の都會なり。市中に第二師團司令部あり。産物には、仙臺平埋木細工など名高し。仙臺の地方には、平野、廣く、開けて、米を産するこ  
と多し。



松島灣の一部

松島

仙臺の東北、松島灣中には、數多の小島あり、いづれも、青松をいただき、その景色はなほだよし。

北上川

北上川は、岩手縣より來りて、石卷灣にそそぐ。長さ七十餘里、奥羽第一の大川なり。川口に石卷港あり。

石卷

荻濱  
金華山

その東南、牡鹿半島の西岸に荻濱港あり。金華山は半島の東南端に近き小島なり。この近海、鮪のりよ盛なり。

岩手縣(陸中の大部、陸前、陸奥の各一部)

位置

岩手縣は宮城縣の北に連る。わが國にて、もつとも、廣き縣なれども、土地の割合に、住民はなほだ、少し。

鐵道

鐵道奥州線は、宮城縣を経て來り、一關、盛岡を過ぎて、青森縣に入る。

平泉  
盛岡市

一關の北方、平泉には、名高き中尊寺あり。盛岡市は、縣廳のある

所にして、鐵

器の産あり。

岩手山、その

西北にそび

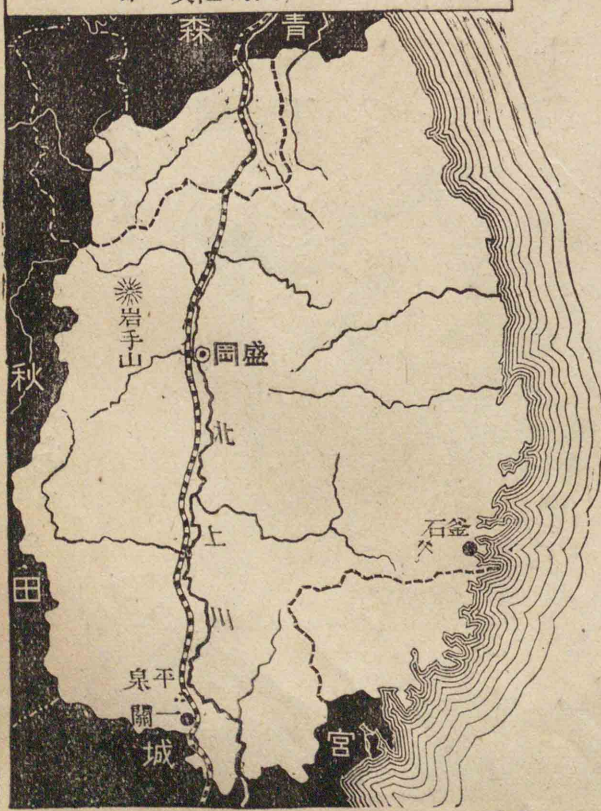
ゆ。また、東南

海岸なる釜

釜石

岩手縣

陸前 陸奥 中前 大部 一部

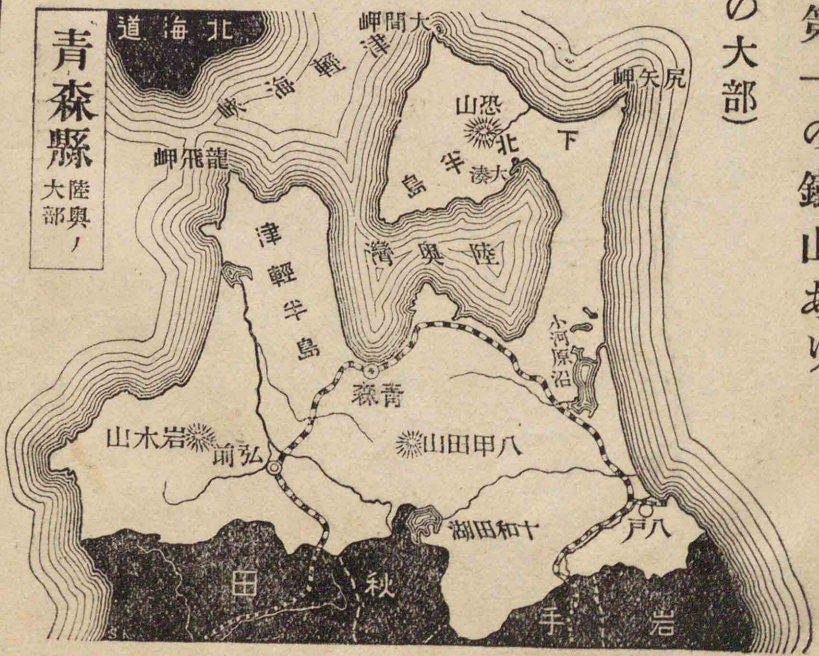


石の近傍には、わが國第一の鐵山あり。

青森縣(陸奥の大部)

位置  
 青森縣は本州の北端にあり。北部は、津輕、下北の二半島をなして、中に陸奥灣をかこみ、南境の山中には、十和田湖あり。

十和田湖  
 鐵道  
 鐵道奥州線は、八戸の西方を過ぎ、青森にい



青森市  
 大湊  
 弘前市  
 岩木山

たる。また、これより、西南に向ひ、弘前を経て、秋田縣に通ずる鐵道あり。

青森市は、縣廳のある所にして、陸奥灣に臨み、北海道と交通の便多し。東京より、ここにいたるまで、およそ、百九十里なり。灣の東北隅大湊には、水雷團の設あり。

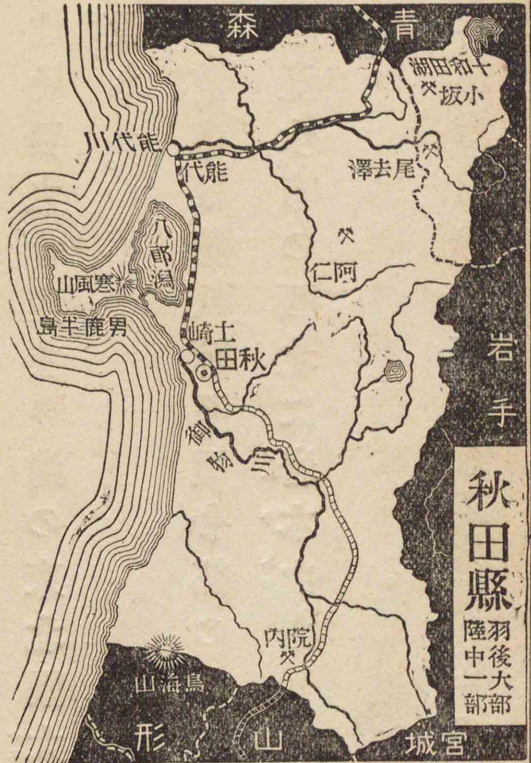
弘前市は、第八師團司令部のある所にして、津輕塗を産す。市の西北に岩木山あり、一に津輕富士といふ。

秋田縣(羽後の大部、陸中の一部)

位置

鐵道

能代  
八郎瀨  
男鹿半島  
寒風山



に沿ひて下り、八郎瀨の東を經、さらに、秋田にいたり、御物川の上流地方に向ふ。  
 能代川の口に能代あり、春慶塗を産す。八郎瀨は、男鹿半島にて、かこまる。半島に寒風山あり。

秋田縣は、岩手縣と背中あはせをなし、日本海に面す。  
 青森縣より來れる鐵道は、能代川

秋田市

阿仁  
小坂  
尾去澤  
院内

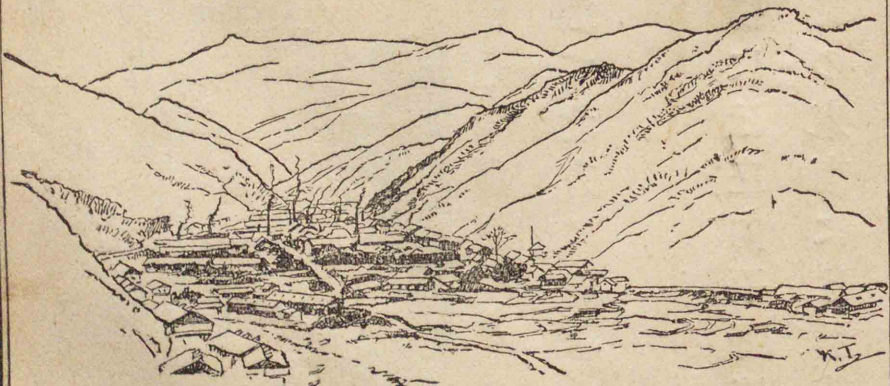
位置

鳥海山

秋田市は、縣廳のある所にして、多く、絹織物を産す。  
 本縣には、鑛物の産多く、阿仁、小坂、尾去澤には、多く、銅を産し、院内には、銀を産す。秋田米、また、名あり。

山形縣(羽後の一部、羽前)

山形縣は、宮城縣と背中あはせをなし。秋田縣の南に連る。北境に鳥海山あり。



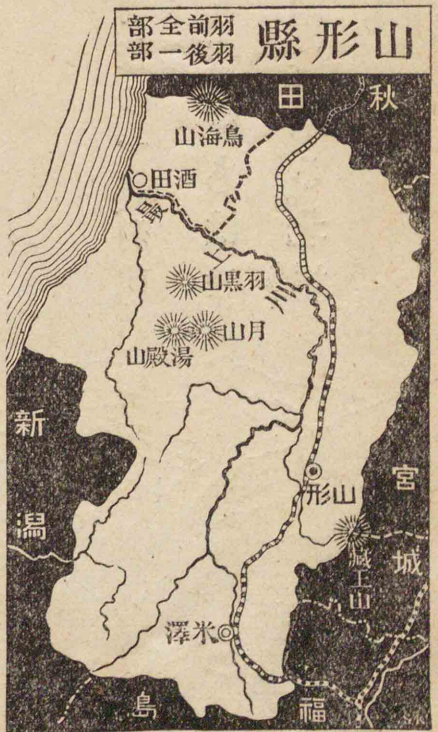
山銀内院

最上川

米澤市  
鐵道  
山形市  
酒田  
庄内平野

最上川は、縣の南部より出でて、北流し、さらに、西北に向ひて、日本海にそそぐ。その上流地方に米澤市あり、絹織物を産す。福島より來れる鐵道は、この市を過ぎ、山形を経て、北方に進む。山形市に縣廳あり。

最上川の口に酒田あり。この近傍には、庄内平野連りて、米の産出はなほだ、多し。平野の東南には、羽前



羽黒山  
月山  
湯殿山

本州中部十  
六國

九縣

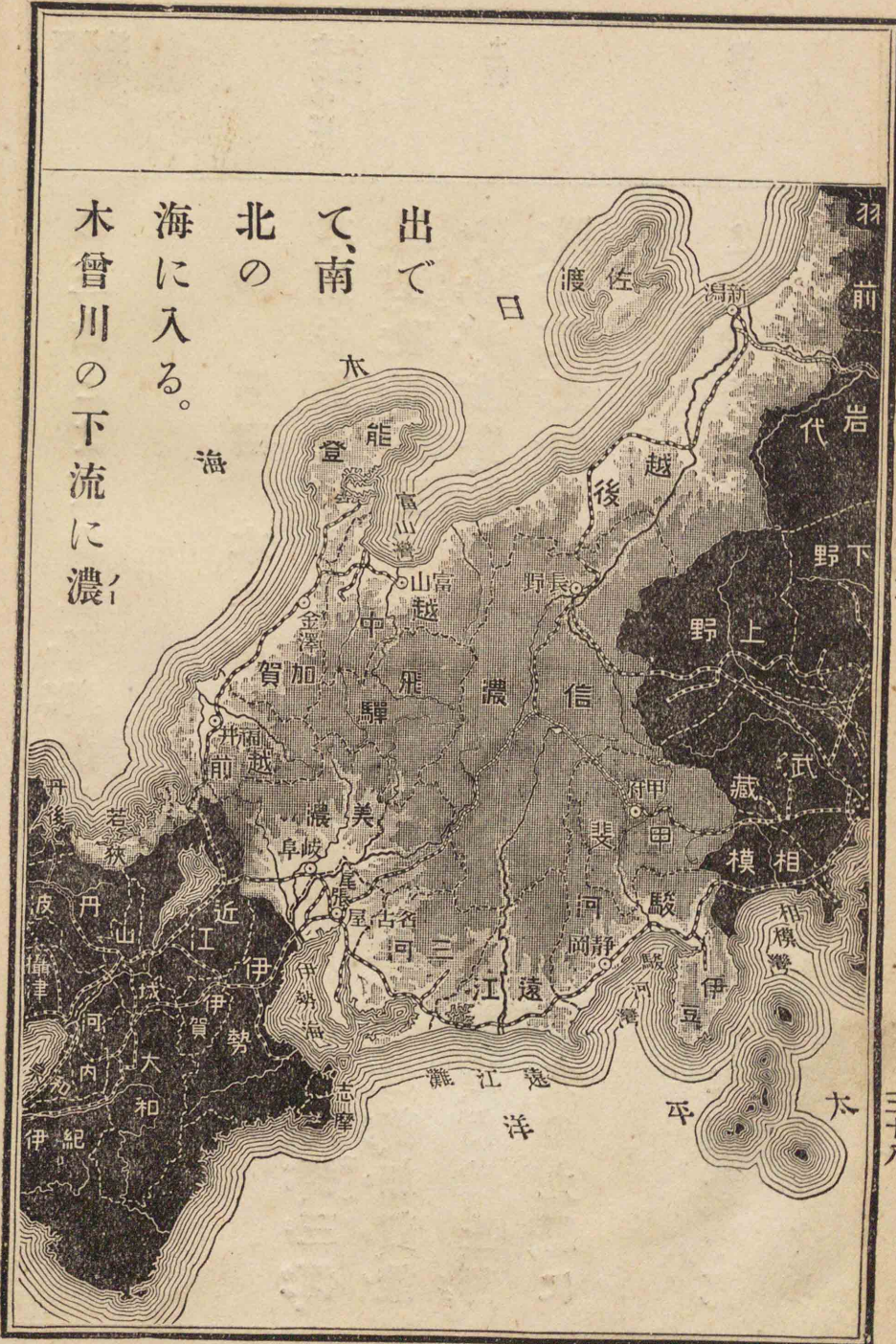
境界

の三山とよばるる羽黒山、月山、湯殿山あり。

#### 第四 本州中部地方

本州中部地方とは、本州の中央部にある、尾張、三河、遠江、駿河、伊豆、甲斐、美濃、飛驒、信濃、若狹、越前、加賀、能登、越中、越後、佐渡の十六國をいふ。これを、行政上、靜岡、山梨、愛知、岐阜、長野、新潟、富山、石川、福井の九縣に分つ。

この地方は、北は日本海に、南は太平洋に臨む。中部には山岳重り、木曾、信濃などの諸大川、その間より



北の海に入る。  
木曾川の下流に濃

産物

氣候

位置

富士山

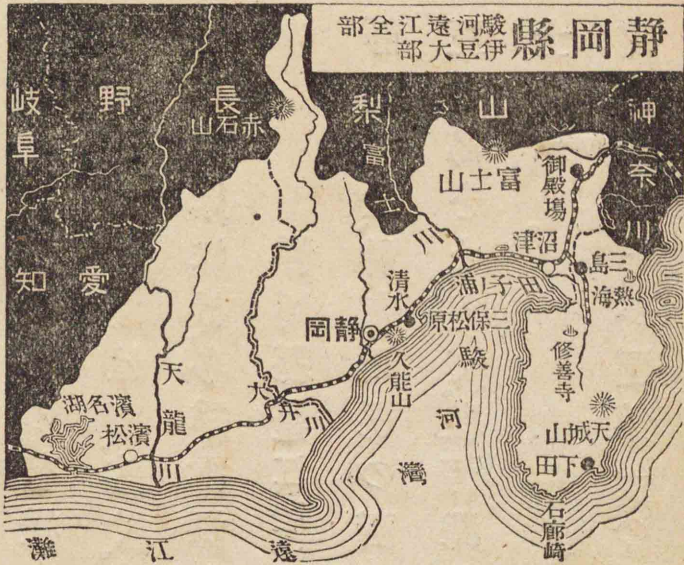
尾平野あり、信濃川の下流に越後平野あり。平野の地方は、多く、米を産し、山地は木材に富む。氣候は、各地方、たがひに、その有様をことにす。中部の山地は、寒暑の差はなほだ、多く、太平洋岸には、夏季、雨多く、日本海岸には、冬季、雪深し。

静岡縣(遠江、駿河、伊豆の大部)

静岡縣は、神奈川縣の西南に連り、その東南部は伊豆半島をなして、駿河灣の東をかざる。東北境に富士山あり。

富士山は、わが國第一の名山にして、その高さ一萬

裾野 鐵道



鐵道東海道線は、神奈川縣を経て來り、御殿場、沼津、  
 械を動かし、盛に、紙を製する所あり。

二千尺にあまり、頂上には、年中、ほとんど、雪をい  
 ただけり。そこに、もと、噴  
 火したる口あり。山の麓  
 には、廣き裾野あり。裾野  
 の邊には、三椏を植ゑて、  
 駿河半紙の原料となす。  
 また、水力を利用して機

濱名湖 伊豆半島 三島 修善寺 天城山 下田 熱海

を過ぎて、駿河灣のほとりに出て、  
 富士、大井、天龍の三大川を渡り、濱  
 名湖口を経て、愛知縣に入る。また、  
 沼津の東より分れて、伊豆半島に  
 通ずるものあり、三島を経て、修善  
 寺温泉の近傍にいたる。半島の中  
 部に天城山あり。沿海の地には鯉  
 節などの海産物多し。南岸には、下  
 田港あり。東北岸には、温泉をもつて  
 名高き熱海あり。



裾野より富士山をのぞく

田子浦  
三保松原

久能山

清水

静岡市

濱松

位置

駿河灣のほとりには、景色よき所多く、田子浦、三保松原、久能山など名高し。久能山は、はじめ、徳川家康を葬りし所にして、東照宮あり。三保松原、その東北に出でて、内に清水港をかこむ。西方に静岡あり。静岡市は、縣廳のある所にして、漆器、竹細工を産す。その近傍地方は、西南部なる濱松の地方とともに、茶を産すること多し。

山梨縣(甲斐)

山梨縣は、静岡縣の北にありて、四方に山をめぐらし、中に平地を抱く。南境に富士山あり。富士山の麓

山中湖

富士川

鰍澤

鐵道



には、あまたの湖あり。その中、山中湖の水は、縣の東部なる郡内地方を流れ、神奈川縣に入りて、馬入川となる。また、郡内地方のほかの水は、みな、富士川にあつまりて、南に流る。富士川は急流なれども、鰍澤より下は、水運の便あり。

甲武線につづく鐵道は、東京府より來り、郡内地方を経て、甲府に通ず。この鐵道は、なほ、延びて、長野縣に入り、東京と名古屋とを連ねんとするなり。郡内



笹子峠

甲府市

勝沼

身延山

位置

濃尾平野

には、絹織物の産多し。笹子峠は郡内の西をかぎり、  
 鐵道は、長きとんねるによりて、ここを過ぐ。  
 甲府市は、縣廳のある所にして、平野の中央にあり。  
 その北方には、水晶を産する所あり。東にあたれる  
 勝沼地方には、多く、葡萄を産す。また、縣の西南部な  
 る身延山には、名高き寺あり。

愛知縣(三河、尾張)

愛知縣は、静岡縣の西に連り、南に、渥美、知多の二半  
 島ありて、三河灣をかこみ、西北部は濃尾平野の一  
 部をなせり。平野の地方は、多く、米、麥を産す。

鐵道

豊橋

岡崎

武豊

鐵道東海道線は、静岡縣を経て來り、豊橋より、岡崎  
 の南方を過ぎ、熱田、名古屋を經、木曾川を越えて、岐  
 阜縣に入る。また、豊橋より東北に向へるもの、知多  
 半島に通ずるもの、名古屋より三重縣に通ずるも  
 のなどあり。

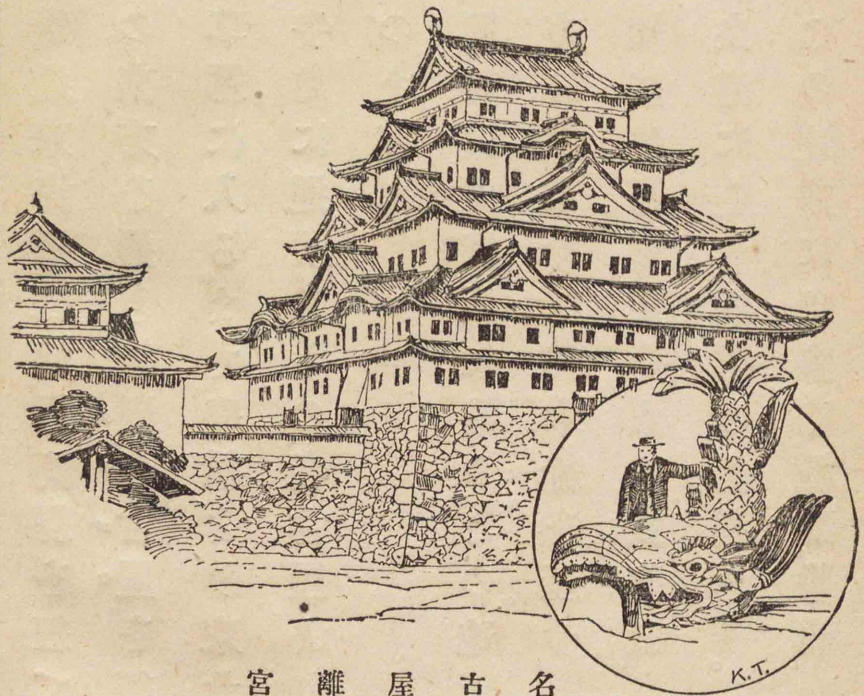
岡崎は、矢矧川に沿ふ。この地  
 方には、多く、三河木綿を産す。  
 知多半島の東岸なる武豊は、  
 良港にして、鐵道の便利あり。  
 この地方には、多く、酒、酢、醬油



有松

熱田神宮

名古屋市



名古屋離宮

を産す。半島北部の  
有松は、絞の産地と  
して、あらはる。熱田  
には、熱田神宮あり、  
草薙劔をまつる。  
名古屋市は、東京を  
さる、百里に近く、鐵  
道の便、はなはだ、多  
し。その人口、およそ、  
二十八萬あり。縣廳

名古屋離宮

瀬戸

位置

濃尾平野

の所在地にして、また、第三師團司令部あり。金の鯨  
をもつて名高き名古屋城の天守閣は、今は、離宮とな  
れり。市の産物には、織物、漆器、扇、七寶焼などあり。  
名古屋の東北にあたりて、瀬戸あり、陶器を産する  
こと、はなはだ、多し。

岐阜縣(美濃、飛驒)

岐阜縣は愛知縣の北にあり。その東北部は山多く、  
東境には、ことに、けはしき山脈ありて、乘鞍岳、御岳  
などの高山あり。西南部は、木曾川をへだてて、尾張  
に連り、濃尾平野の一部をなせり。この地方には、長

川流

鐵道

關原

(符號說明)  
※古戰場

多治見



良川、揖斐川などありて、土地肥え、米などの農産物に富めり。

愛知縣を経て來れる鐵道東海道線は、岐阜、大垣より、關原の古戰場を過ぎ、滋賀縣に入る。また、東南部には、名古屋より來り、長野縣に向へるものあり、多治見を過ぐ。多治見には、多く、陶器

を産す。

岐阜市  
長良川  
養老瀧  
高山

位置

岐阜市は、縣廳のある所にして、縮緬、岐阜提燈などを産す。その傍を流るる長良川は、鵜飼をもつて名高し。岐阜の東北地方には、多く、紙を産す。大垣の西南にある養老山中には、名高き養老瀧あり。飛驒川の上流地方に、高山といふ都會あり、生糸、漆器などを産す。

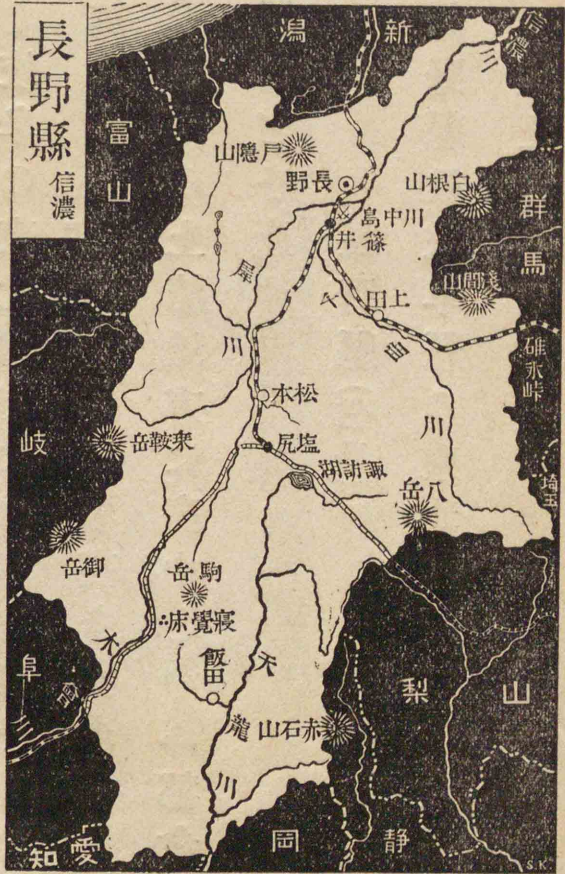
長野縣(信濃)

長野縣は、岐阜縣の東北に連れる大縣にして、八縣、十國と境す。

山岳

淺間山

川流



長野縣 信濃

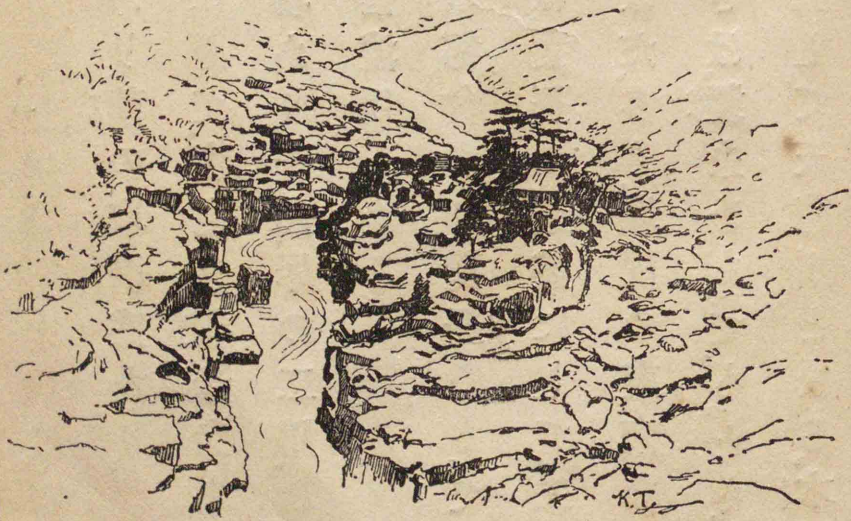
に駒岳、北部に戸隠山、東境に淺間山、東南境に八岳、赤石山などの高山あり。中にも、淺間山は、名高き火山にして、煙、盛に、立ちのぼる。川には、千曲、犀、天龍、木

本縣は、ほとんど、本州の中央にありて、土地はなほ、だ、高く、西境に御岳、乗鞍岳、西南部

寢覺床

鐵道

曾の四大川あり。これらの川筋には景色のよき所多し。木曾川の寢覺床の如きは、ことに、名高し。群馬縣より、碓氷峠を越えて、來れる鐵道信越線は、上田、篠井、長野などを過ぎて、新潟縣に入る。また、篠井より、分れて、西南に向へるものあり、松本



木曾川寢覺床

を過ぎて、塩尻シホジリにいたる。

上田

上田は、千曲川の川筋にあり、繭まゆの取引盛なり。

長野市  
善光寺

長野市は、縣廳の所在地にして、名高き善光寺ゼンコウジあり。

川中島

近傍には、川カハ中ナカ島シマの古戰場あり。千曲、犀の二川、ここに會し、新潟縣に入りて信濃川となる。

松本

松本は、犀川の川筋にある都會なり、養蚕をもつて聞ゆ。このほか、一般に、本縣は、養蚕の業盛にして、生糸、繭たね卵たまご紙がみなどの産、はなはだ多く、塩尻の東南なる諏訪湖スワハの近傍地方の如きは、製糸せいしをもつても、とも、あらはる。諏訪湖の水は、南流して天龍川となる、木材もくざい

諏訪湖

飯田

運搬うんぱんの便多し。その川筋に飯田イヘあり、南部の要地ようちなり。

木曾

また、木曾川の過ぐる木曾の地方は、森林に富みて、良材りょうざいを産す。

新潟縣(越後、佐渡)

位置

新潟縣は、長野縣の東北に連り、日本海に臨める大

越後平野

縣にして、東と南とには、山多く、中部には、廣き越後

信濃川

平野あり。信濃川、阿賀川アガガハの二大川、この平野を流れ

て、日本海に入る。平野には、米の産多し。信濃川は、わが國第一の長流にして、およそ、百里に及ぶ。

鐵道

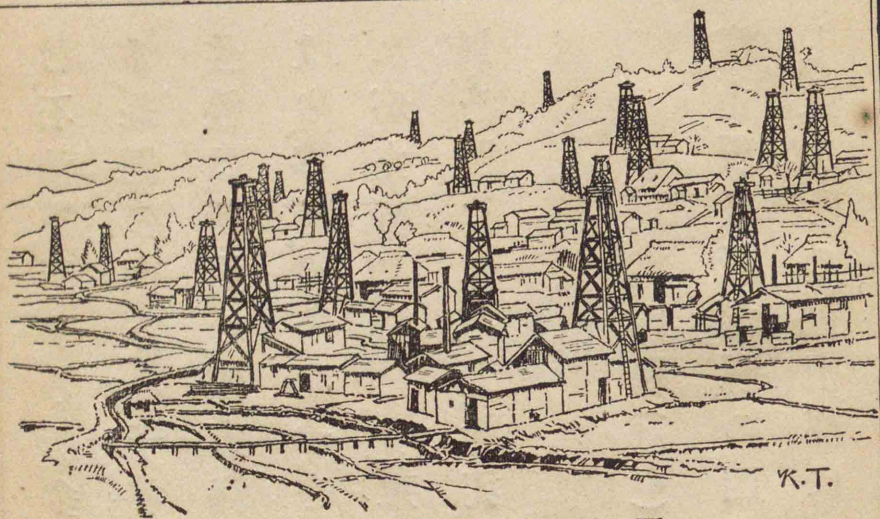
鐵道信越線は、長野縣を経て來り、妙高山ミウコウザンの東方を

高田  
直江津

過ぎ、高田を  
經て、直江津  
港にいたる。  
また、これよ  
り、東北に向  
ひ、柏崎、長岡  
を過ぎ、新潟  
に通ずる鐵  
道あり。高田の地方は、冬季、雪深き所と  
してあらはる。直江津より西方、富山縣



親不知  
新潟市  
彌彦山  
米山



にいたる途中に、親不知の  
險阻あり。

石 新潟市は、信濃川の口にあ  
り、縣廳の所在地なり。この  
地は、名高き開港場なれど  
も、船の出入、便ならず。新潟  
より西南にあたりて、彌彦  
山あり、柏崎の西南に米山  
あり。ともに、海岸に立ちて、  
ことに、人目をひく。越後に

石油の産地

小千谷

佐渡山

相川

夷

は、石油を産する所多く、長岡の近傍、ことに、あらはる。長岡の南方、小千谷地方には、越後縮、透綾を産す。佐渡は、新潟の西方海上にあり、島中、金北山の西南より、多く、金を出すをもつて、昔より名高し。相川は、これがために、繁昌す。東岸に夷港あり、日本海の西北風を防ぐに適し、新潟港にある船、風浪をここにさく。

富山縣(越中)

位置  
立山  
川流

富山縣は、新潟縣の西に連り、三方、みな、山をめぐらし、立山その東南部にそびゆ。庄川、神通川などの諸

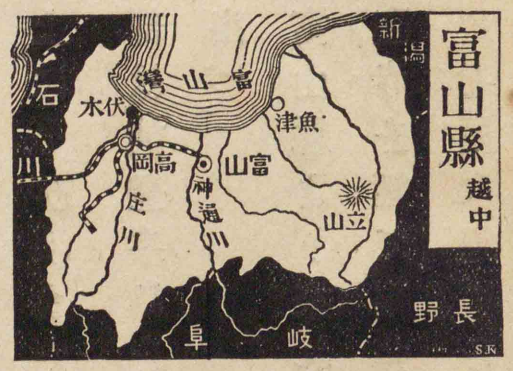
富山灣

富山市

鐵道

伏木

高岡市



富山縣

川、みな、北に流れて、富山灣に入る。諸川の下流地方には、平野廣く、米の産多し。

富山市は、平野の中央にあり、神通川にまたがる。縣廳の所在地にして、賣藥業をもつて名高し。富山より西には、鐵道ありて、高岡を過ぎ、石川縣に入る。また、高岡の東北なる伏木港より、高岡を経て、南方に向へるものあり。高岡市には、銅器、漆器を産す。

石川縣(加賀、能登)

位置

白山

能登半島

鐵道

七尾

石川縣は富山縣の西に連る。その東南部には、山多く、白山高く、岐阜縣との境上にそびゆ。また、北部は、能登半島をなして、日本海に突き出づ。

富山縣より來れる鐵道は、西南に向ひ、金澤、小松、大聖寺を経て、福井縣に入る。また、これと分れて、能登の七尾に通ずるものあり。七尾は日本海の良港なり。



金澤市

兼六公園

小松大聖寺

山中代

輪島

金澤市には、縣廳あり、また、第九師團司令部あり。人口十萬餘に及び、北陸地方第一の都會にして、有名なる兼六公園あり。陶器、漆器、銅器、羽二重などを産す。陶器は、このほか、小松、大聖寺などにも産し、九谷焼の名あり。大聖寺の東南には、山中、山代の温泉あり。山代には、陶器を産し、山中には、漆器を産す。能登の北岸にある輪島、また、漆器を産し、丈夫なるをもつて名あり。

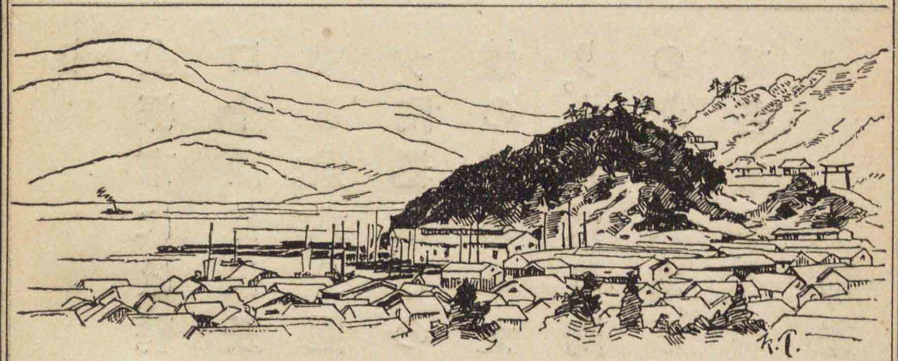
福井縣(若狹、越前)



位置

鐵道

福井市



福井縣は石川縣の西南に連る。その西南部は、若狹灣に臨みて、海岸に、出入はなはだ多く、漁業の利少からず。

石川縣を経て來れる鐵道は、福井、武生を過ぎて、敦賀にいたり、さらに、滋賀縣に入りて、東海道線に連る。

福井市には、縣廳あり。羽二重、奉書、紬など、絹織物の産、はなはだ多し。

藤島神社

敦賀

金崎宮

小濱

市内に藤島神社あり、新田義貞をまつる。

敦賀は、日本海岸の良港にして、敦賀灣に臨む。日本海を越えて、對岸なるロシヤのウラデオストックへ、汽船の定期航海あり。

この地の金崎に、金崎宮あり。敦賀灣の西南にあたりて、小濱あり、小濱灣に臨む。その近傍に、若狹塗の産あり。



小學地理一終

附錄

畿内八道諸國表

畿道名

畿内五國  
東海道十五國

東山道十三國

北陸道七國  
山陰道八國

國

名

山城	伊賀	伊豆	相模	武藏	安房	上野	上野	駿河
大和	伊勢	伊豆	志摩	尾張	三河	下野	遠江	下野
河内	伊勢	伊豆	志摩	尾張	三河	下野	遠江	駿河
和泉	伊勢	伊豆	志摩	尾張	三河	下野	遠江	駿河
攝津	伊勢	伊豆	志摩	尾張	三河	下野	遠江	駿河
美濃	伊勢	伊豆	志摩	尾張	三河	下野	遠江	駿河
陸前	伊勢	伊豆	志摩	尾張	三河	下野	遠江	駿河
越前	伊勢	伊豆	志摩	尾張	三河	下野	遠江	駿河
若狹	伊勢	伊豆	志摩	尾張	三河	下野	遠江	駿河
丹波	伊勢	伊豆	志摩	尾張	三河	下野	遠江	駿河
丹後	伊勢	伊豆	志摩	尾張	三河	下野	遠江	駿河
隱岐	伊勢	伊豆	志摩	尾張	三河	下野	遠江	駿河

附錄 畿内八道諸國表

山陽道	八國	播磨	美作	備前	備中	備後	安藝	周防
長門	紀伊	淡路	阿波	讚岐	伊豫	土佐	日向	
筑前	筑後	豐前	豐後	肥前	肥後	日向		
大隅	薩摩	壹岐	對馬	琉球				
渡島	後志	石狩	天塩	北見	膽振	日高		
十勝	釧路	根室	千島					
北海道十一國								
北海道十二國								
府縣管轄表(一)								
東京府	武藏の一部、伊豆七島、小笠原島							
神奈川縣	武藏の一部、相模全部							
千葉縣	安房、上總全部、下總の大部							
埼玉縣	武藏の一部							

群馬縣	上野全部
栃木縣	下野全部
茨城縣	下總の一部、常陸全部
以上關東地方	
福島縣	磐城の大部、岩代全部
宮城縣	磐城の一部、陸前の大部
岩手縣	陸中の大部、陸前、陸奥の各一部
青森縣	陸奥の大部
秋田縣	羽後の大部、陸中の一部
山形縣	羽後の一部、羽前の全部
以上奥羽地方	
靜岡縣	伊豆の大部、駿河、遠江全部

山梨縣	甲斐全部
愛知縣	三河、尾張全部
岐阜縣	美濃、飛驒全部
長野縣	信濃全部
新潟縣	越後、佐渡全部
富山縣	越中全部
石川縣	能登、加賀全部
福井縣	越前、若狹全部

以上本州中部地方

明治三十六年十月十日 印刷  
 明治三十八年十月十三日 發行  
 明治三十八年十月廿四日 翻刻印刷  
 明治三十八年十月廿九日 翻刻發行

著作權所有

著作兼發行 文部省

翻刻者 江草 斧太郎

印刷者 野村 宗十郎

印刷所 東京築地活版製造所

發行所 有斐閣書房

東京市神田區一ツ橋通町七番地

東京市日本橋區新右衛門町十六番地

發賣所

株式會社 國定教科書共同販賣所

明治三十三年十月十四日  
 文部省檢査濟

小學地理一

定價金七錢

文庫

05

2322

広島大学図書

2500032322

